

20 麻酔科フェロー研修要綱

指導責任者 宮津 光範

対象： 一般病院あるいは大学病院等において、ある程度の成人の麻酔業務を経験し、これから小児麻酔を勉強したい麻酔科医。麻酔科標榜医もしくは標榜医取得見込みであることが望ましい。

目 標

小児患者および妊婦の麻酔・周術期管理を経験することにより、安全で質の高い麻酔を提供できるようになること。小児および妊婦における疾患・病態・生理・解剖・薬理を正しく理解し、できるだけ多くの症例を経験することにより、小児麻酔および産科麻酔の周術期管理能力を身につける。

カリキュラム

1. 術前診察において、手術前の患者および保護者とコミュニケーションを図り、全身状態を把握、適切な術前評価ができるようになること。
2. 小児の発達の段階での違いを理解したうえで、適切な麻酔計画・麻酔管理を行うことができるようになること。
3. 小児における基本的手技(マスク換気、声門上器具挿入、気管挿管、血管確保)を身につけること。仙骨硬膜外麻酔、エコーガイド下中心静脈穿刺や末梢神経ブロックを安全に施行できるようになること。
4. 先天性心疾患の病態生理、治療方針などを理解した上で、麻酔管理および周術期管理に参加すること。
5. 胎児診断のついた妊婦の周産期および周術期対応を学ぶこと。